



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2023年
3月31日
発行

第172回 「岸田首相の『男子三日会わざれば刮目して見よ』」

～今後は経済政策にも期待～

初めに

「男子三日会わざれば刮目して見よ」は中国の故事成語です。三国志の主な登場人物の一人である呉の將軍、呂蒙に関するもので、男子は突然能力を開花させることがあるので久しぶりに会う時はそうした点に注意することが必要だ、と自分は解釈しています。そこで、自分が思い浮かべたのが最近の岸田首相です。つい先日まで支持率は低迷していましたが、長年の懸案であった日韓関係を立て直し、ウクライナへの電撃訪問で日本の存在感を印象付けました。この頃から支持率も上昇に転じています。まさにこの故事成語のようです。今回は、今後に向けて岸田氏に期待することについて考えてみました。

今後は経済政策にも期待

岸田氏は安倍政権で外務大臣を長く務めており、本人も”外交の岸田”を自負しています。今回、支持率の上昇に貢献したのも、日韓関係・ウクライナへの訪問などいずれも外交に関するものです。それに対し、経済関係についてはこれまであまり見るべき実績はありません。日経平均も就任当時の水準を下回ったままです。ここからの岸田氏は、G7などが終われば政策の軸足を外交から経済に徐々にシフトさせることになるでしょう。

これまでの岸田氏の経済政策

これまでの岸田氏の経済政策をみると、基本、パンデミックやインフレなどが生じた時に補助金を支給するというもので、これはこれで必要なことですが、場当たりの対処療法が多かったと思います。そのため抜本的な解決にならず、また、補助金を支給するということが繰り返されてきました。しかし今後は、インフレであれば他の先進国と同様に、中央銀行による金利操作など金融政策を用いて抜本的な解決を目指す方向にシフトするのが望ましいと思います。これには日銀の協力が必要になりますが、その意味では、日銀総裁が緩和一辺倒の黒田氏から、学者出身の植田氏に変わるのはいいことでしょう。日銀・政府の連携に期待しています。

世界経済も追い風に

岸田氏には運も味方しているようです。これまで世界経済はインフレ・戦争・金融危機など混乱が続いていましたが、日本経済への影響は他国に比べると小さかったと思います。そこへ飛び込んできたニュースが英国のTPP（環太平洋パートナーシップ協定）加盟です。EU離脱後の英国は世界貿易の中で孤立したかたちになっていましたが、ここにきてTPPへの加入が認められる見通しとなりました。これは世界経済にとっても喜ばしいことです。さらに言えば、最近、ウクライナ戦争などで世界の分断が指摘されていますが、この流れに一石を投じたという意味でも喜ばしいことだと自分は考えています。今後の岸田首相に期待しています。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。